

令和4年度 第3回うつのみや産業振興協議会（書面開催）
委員意見（要旨）

1 日 時

令和4年12月15日（木）

※ 主な議事が「うつのみや産業振興ビジョン」（素案）の記載内容についてであったため、
書面にて開催

2 議 事

「うつのみや産業振興ビジョン」（素案）について

3 委 員

宇都宮農業協同組合 見形委員
株式会社ファーマーズ・フォレスト 松本委員
株式会社ジェイテクトファインテック 印南委員
株式会社オニックスジャパン 大西委員
キヤノン株式会社 石川委員
株式会社SUBARU 羽野委員
株式会社TKC 角委員
株式会社東武宇都宮百貨店 守委員
東日本電信電話株式会社 小林委員
株式会社JTB 北上委員
サイクルスポーツマネジメント株式会社 柿沼委員
株式会社栃木サッカークラブ 橋本委員
宇都宮商工会議所 小関委員<副会長>
特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構 須賀委員<会長>
公益財団法人栃木県産業振興センター 坂入委員
株式会社あしぎん総合研究所 豊田委員
国立大学法人宇都宮大学 イノベーション支援センター 高山委員
栃木労働局 左藤委員
宇都宮市経済部 笹野委員 (順不同)

4 主なご意見

各重点施策における委員からの意見は以下の通り。

(1) 【施策2】産業集積を高める企業の立地・定着の促進

- ・ 「農業」の担い手不足の解消のためには、受け皿となる企業の立地促進以外の手法も検討する必要があると考える。
- ・ 本社機能に包含されていると思うが、製造業や情報産業等の「研究所」や「研究部門」は、労働集約型であり、性別問わず、高度な人材の雇用が確保できるため積極的な誘致を図るべきであると考えます。
- ・ 産業用地の確保目標を数値として明確化した点は、新たな産業用地の確保に向け、非常に良いことだと考える。

(2) 【施策3】本市産業を支える中小・小規模企業、地場産業等の振興

- ・ 中小・小規模企業や地場産業等の振興のため、DXやGXの推進を中心とした経営力や、将来に向けた生産性・創造性の向上に力を注ぐこととしており、大変心強く感じる。
- ・ 中小企業や小規模事業者の「事業承継」については、手法の一つとして、M&Aも有効であると考えます。
- ・ 市場の縮小に備えた販路拡大に係る手法の一つとして、EC取引も有効であると考えます。
- ・ 主な取組例に「中心商店街をはじめとした商店街の賑わいの創出」とあるが、「中心商店街」ではなく、「中心市街地」や「中心市街地の商店街」とすべきではないかと考える。

(3) 【施策4】地域資源を最大限に活かす産業の総合力の向上

- ・ 地域における食料自給率や食料自給力を高める観点から、より一層、地産地消を推進していくことは非常に重要であると考えます。

(4) 【施策5】産業活動の源となる人材の確保と育成

- ・ 人材の確保が課題となる中、技能実習生や高度な技能を有する外国人材の活用についても検討の余地があると考えます。
- ・ 方向性に、「企業の最も重要な経営資源である産業人材」とあるが、労働行政においてあまり用いられない言葉であるため、「産業人材」の部分をも、一般的な「人材」に置き換えるべきだと考える。
- ・ 将来の消費世代の中心であるZ世代の価値観は、現在の主要消費世代と大きく異なることを踏まえ、宇都宮市が将来においても継続的に活力を維持し、生産性の高い産業、並びに人材を確保・育成するために、市内の大学などとの連携を強化するほか、企業のインターンシップなどを促進する取組を通じて、他の自治体に先んじて若い人材の確保を前提とした施策を進める必要があると考えます。

(5) 全体について

- ・ 現状認識においてはS W O T分析の活用を検討するのも有効だと考える。
- ・ 具体的な取組例について，分野ごとにきめ細かに方向が示されており，期待が持てる。
- ・ A 4 版の「概要版」が作成されており，分かりやすくまとめられていると考える。